未公開発掘資料『烏寶線鉄道唱歌』の解明に向けた調査と分析
～足利工業大学＆烏山高等学校共同研究の成果～

わが国の鉄道唱歌の概要と『烏寶線鉄道唱歌』

栃木県立烏山高等学校
佐藤　拓真

鉄道唱歌とは、明治33年に国文学者大和田建樹（おおわだたけき）が作詞し、大阪・三木書店の経営者三木佐助が『地理教育鉄道唱歌第一集』として発行したものがその始まりである。歌詞の中に沿線地域の地理や歴史さらに民話・伝説・名産品などの紹介が盛り込まれ、子供から大人まで大いに人気を博し、その後、鉄道路線の延伸・拡張に伴い各地の路線の鉄道唱歌がつくられた。

本研究の出発点になった『烏寶線鉄道唱歌』もそうして生まれた鉄道唱歌の一つと考えられる。烏寶線鉄道唱歌は、那須烏山市の知人から入手した5枚のコピーで、古い便箋に手書きで書き留められていたものである。本研究を始めるにあたり、この唱歌の実態やその認知の度合いなどについて調査を行ったが、現在までのところ、作歌者として記載されている及川誠二の履歴はおろかその存在、この唱歌の存在も含めすべて不明である。しかし、この唱歌に詠まれた歌詞を丹念に追いかけて解明することにより、当時における当該地域固有の地域資源や周辺地域の景観など、いわゆる地域の魅力情報に関わる当時の認識の把握に繋がるものと考えている。

鉄道唱歌第1号が人気を博し
各地の鉄道路線に鉄道唱歌が作られた！

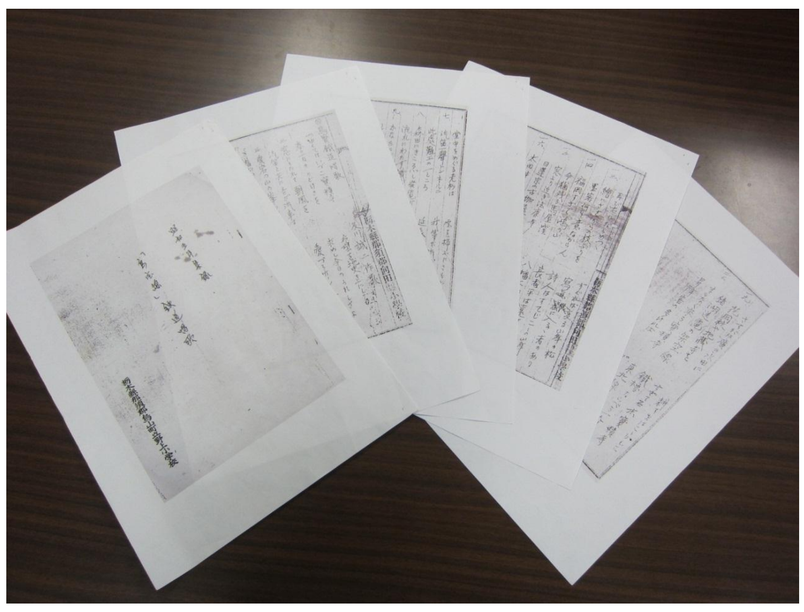
「http://www.geocities.jp/tamo03/cda.html」より転載

（『鉄道唱歌の歴』より）

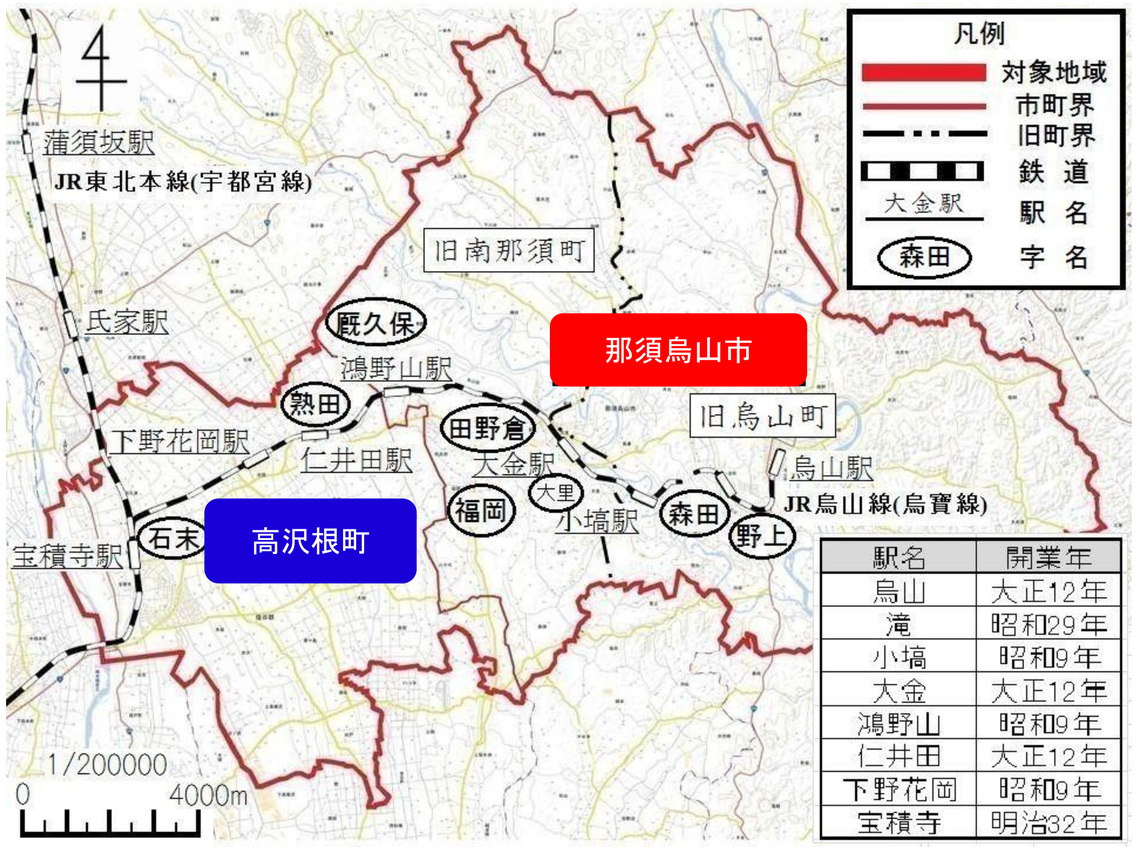
- 「地理教育 鉄道唱歌 第1～5集」
- 「歴史地理教育 鉄道唱歌」
- 「鉄道唱歌 関西参宮之部」
- 「智育 鉄道唱歌（第1集 奥州）」
- 「大日本鉄道地理歴史唱歌（総武・房総・成田線）」
- 「鉄道唱歌（大和名所）」
- 「豆相鉄道唱歌」
- 「伊予鉄道唱歌」
- 「山形県鉄道唱歌」
- 「地理教育 北海道鉄道唱歌 第1集」
- 「地理教育 讃岐唱歌鉄道之巻」
- 「阪鶴鉄道唱歌」
- 「阪神鉄道唱歌」
- 「九州線唱歌」
- 「山陽線唱歌」
- 「筑豊有馬電車唱歌」
- 「中央線・木曽鉄道唱歌」
- 「上武鉄道唱歌」
- 「耶馬溪鉄道唱歌」

etc.

■この原本は、那須烏山市の知人から入手した5枚のコピーである。
■本研究に際し、『烏寶線鉄道唱歌』の認知度をはじめその実態について調査しているが、現在のところ詳細は不明。



烏寶線鐵道唱歌　及川誠二 作歌　昭和5年集録			
1	ゆくてはいづこ寶積寺　希望を地史の上にして 春の一日ののどけさを　求めし今日のうれしさよ	2	窓にもたれて朝風を　愛づる折りしも一聲の 汽笛と共に吾が汽車は　烏山をば出でにけり
3	愛宕の山の峯つゞき　めぐると見れば虻塚の 宿もいつしかあとに見て　峡を走る心地よさ	4	麦の緑のそが中に　黄金欺く花ありて 言はづとかたる春の香に　思はず胸の踊るなり
5	瀑音高く緑陰に　響くはこれぞ名にし負ふ 瀧の名所と相待ちて　観音堂のあるところ	6	石のきざはし苔むして　慈覚大師開山の 堂宇をめぐる老杉は　雲を掃ふにさもにたり
7	汽笛一聲トンネルに　我等が汽車は入りにけり 此處難工の一ところ　延長實に三町餘	8	森田にきこゑし発電所　小塙をすぎて荒川の 流れにわたす鐵橋に　かゝれば音のかまびすし
9	かなたに見ゆる山脈の　ふもとにひける一筆の 斜めに染めしうすかすみ　高瀬の景の得がたしや	10	いつしか大里あとにして　鎮守ふりむくひまもなく 大金驛につきにけり　驛夫のこゑもほがらかに
11	化石に名ある小河原や　人に知られし十二口 大和久小倉ほど近し　汽車は驛をばいでにけり	12	田の倉校や安楽寺　窓下に青き荒川を 再び右にながめつゝ　すぐれば変る峯の松
13	繪にさながらの枝ぶりを　寫旨機に入るゝ者のあり 墨客何ぞ意なからん　詩人はすてじこしの峯	14	福岡すぎて鴻の山　長者平は遠けれど 今猶残る馬屋窪　八幡太郎に知られけり
15	窓より近き法康寺　一向宗にぞしられぬる 臺新田の三箇寺は　日蓮宗の古伽藍	16	太田神社を右に見て　左に仰ぐ星の宮 文挟校の庭先を　すぐれば早やも熟田驛
17	汽車は煙を吐きたてゝ　今ぞ熟田をいでゝ行く 高根沢また花岡は　野州米てふ名も高し	18	廣袤幾重灌漑の　水路蜘蛛手に分れつゝ さすがは廣き水田に　耕すものはこゝかしこ
19	花岡校や地蔵寺を　すぎて石末寶積寺 猪湖送電の架空線　鐵櫓ならべる一奇観	20	まもなく来る寶積寺　東北線と交りて 昇降客の多ければ　プラットホームは織る如し



駅名	開業年
烏山	大正12年
滝	昭和29年
小塙	昭和9年
大金	大正12年
鴻野山	昭和9年
仁井田	大正12年
下野花岡	昭和9年
宝積寺	明治32年

（唱歌３番）愛宕の山

（唱歌5番）　瀧の名所

（唱歌６番）慈覚大師開山の堂宇

（唱歌８番）森田に聞こゑし発電所

（唱歌１４番）長者平は遠けれど

（唱歌１５番）法康寺

（唱歌１５番）臺新田の三箇寺は

（唱歌１６番）左に仰ぐ星の宮